

防災対策

Q 消防団の出動状況は

A 令和2年度火災時出動率で23%

池尻 豪雨災害が全国各地で発生し、その中で消防団の力は欠かせない。団員数は確保出来ているという中、有事の際の出動状況はどうか。

町長 令和2年度の火災出動率で23%。1回の出動で約50人前後。団員OBを活用した支援団員制度を導入し、体制の強化を図っている。

池尻 総務省から消防団員の処遇などに関する検討会が行われ、条例改正及び、予算措置を実施することとなっている。町の対応はどうか。

町長 出動に当たったの固定化は見える。役場の職員が3分の1から約半数を占めている。報酬等に関しては条例に従っているが、今後も検討していく。

池尻 役割の多様化、様々な主体との連携が必要と感ずるが、町の体制としてはどうか。

町長 これまでの細かい被災状況等を再度確認しながら水路等を含め、消防団と協力、検討を続けたい。



池尻 浩一 議員

○教育委員会事務局にも質問

池尻 令和4年度から導入予定の教科担任制で、教職員の確保、南筑後教育事務所管内の取り組み、教職員能力のバランス等は大丈夫か。

教育長 教員の確保は懸念している。その他予想される課題は、国から具体策が示されていない。



消防団訓練の様子

下水道計画

Q 公共下水道事業の見直し地域を図面上で示す必要はないか

A 図面により具体的範囲を提示する



栗原 福裕 議員

栗原 除外地域には、町の中心部や国道3号バイパスの計画路線の地域もあるが、今後の町発展に影響しないか。

町長 国道3号バイパスは視野に入れて見極めたい。5年ごとの見直しで見極めたい。

栗原 事業の受益者負担と除外地域の補助制度の考えは。



町長 公共下水道と合併浄化槽の負担と補助の不均衡は正に向け協議する。

栗原 合併浄化槽への再度の補助金の考えはあるか。

町長 現在のところ考えていない。

栗原 住民への説明をしっかりと行い、公共サービスの平等性を踏まえ、健全な財政運営に努力し事業を推進されたい。